

令和4年度 学校自己評価 I V Y大分高度コンピュータ専門学校

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

①教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は明確化されているか	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は。学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

[課題]

- ・社会構造、産業構造の急激な変化の中で生き残るための総合戦略を明確にして、職員で共有する必要がある。
- ・業界のトレンドやニーズに合わせて目標とする人材や教育内容を見直しているが、変化のスピードへの対応に苦慮している。

[今後の改善方法]

- ・専攻ごとに担当職員が企業との連携・協力に取り組むことを通じて、業界の動向やニーズについて情報収集に努める。
- ・IVYの教育方針・内容を外部に発信するため、学校ホームページ等の一層の活用を図る。

[特記事項]

- ・大分県の職業訓練委託校（長期）に本校情報処理学科が採択されることとなった。
- ・ゲーム、AI等の分野で企業連携が進んでいる。

②学校運営

・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

[課題]

- ・各種データの保存ルールを再構築し、学校ならびに学園全体でデータ活用ができるようにする必要がある。
- ・産業構造の変化や技術革新に対応した教員のスキルアップ（リスキリング）が必要。
- ・運営組織の活性化。特にミドルリーダー層が斬新なアイデアをもって積極的に参画することが求められる。

[今後の改善方法]

- ・頑張っている職員を的確に処遇するため、新たな人事評価システムと給与体系の再構築に取り組む。
- ・業務の効率化と職員の負担軽減のため、業務のデジタル化を一層推進する。

[特記事項]

- ・就業規定の変更（ハラスメント防止関係を拡充）

③教育活動

・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方針の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等がおこなわれているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3

・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・教員の能力開発のための研修等が行われているか	3

[課題]

- ・国家資格受験対策から実践的な知識・技術修得をめざすカリキュラムへの転換
- ・技術革新が急加速する中、職員のスキルアップやリスキリングを積極的に進める必要がある

[今後の改善方法]

- ・企業連携を推進し、実践的分野の講師の確保や、学生のインターンシップの充実を図る。
- ・企業との連携による研修を通して、国際基準の資格の研究とその取得のための指導力を教員が身につける。

[特記事項]

- ・ゲーム・AIの学科において、企業連携により実践的な教育カリキュラムの基本型が固まりつつある。
- ・新たに情報処理科が職業実践専門課程の認定をうけた。

④学修成果

・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

[課題]

- ・卒業生動向（職場定着率、企業による評価等）の追跡調査が不十分。

[今後の改善方法]

- ・就職担当者による企業訪問等を行い、新卒生の定着状況の把握に努める。
- ・卒業生及び就職先企業から意見聴取を行い、キャリア教育を含む本校の教育内容改善を図る。
- ・社会の変化に対応し、入学時から卒業後までを見通した、キャリア教育のカリキュラム策定する。

[特記事項]

- ・就職希望者の100%が卒業までに内定している。
- ・資格取得率も全国平均を上回っている。

⑤学生支援

・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
・学生相談に関する体制は整備されているか	3
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

[課題]

- ・在学中の修学支援・就職支援は手厚いが、卒業生への支援は実績に乏しい。
- ・委託職業訓練生の就職達成のために、新たな求人開拓が急務となる

[今後の改善方法]

- ・同窓会組織の活性化を促し、卒業生の相談対応について周知を図る。
- ・委託職業訓練の取り組みを関係企業に周知するとともに、今年度から求人開拓を積極的に行う。

[特記事項]

- ・スクールカウンセラーによる相談体制によって、メンタル面の支援は効果を上げている。

⑥教育環境

・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

[課題]

- ・インターンシップの実施体制は整いつつあるが、受け入れ先企業の開拓が必要。
- ・周辺地域の防災計画に対応した学校の防災計画の見直しと訓練が必要
- ・教育を展開する環境は整っているが、施設・設備の老朽化も進みつつある。

[今後の改善方法]

- ・インターンシップの実施規程や実施要項の内容を現状に合わせて改訂する。
- ・周辺地域の防災計画に対応した、学校の防災計画（地震・津波、豪雨災害）の策定
- ・施設の改修・改善工事や教育設備の更新の計画的な実施

[特記事項]

- ・なし

⑦学生の受入れ募集

・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

[課題]

- ・学校訪問で高校の進路担当者には教育成果を伝えているが、クラス担任レベルまで伝わっているかが不明。

[今後の改善方法]

- ・ホームページやSNSなどを活用し、知りたいときに知りたい情報が得られるツールを整える
- ・学生の視点から本校の魅力を発信する有志グループを募り、活動を支援する。

[特記事項]

- ・学校説明会を会場開催に加え、各高等学校での個別開催方式を拡充し、教育活動の特色や成果の周知に努めている。
- ・情報発信のために令和4年度から定期的なSNS（インスタグラム）での発信に取り組んでいる。

⑧財務

・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

[課題]

- ・18歳人口の減少が進む中で中長期的財務基盤の安定のために一定の学生数を確保する必要がある。
- ・学内の設備の老朽化、技術革新に対応して、施設設備の更新を行うための予算確保が必要。

[今後の改善方法]

- ・全職員が経営意識を持ち、社会のニーズに応えられる学校改革に取り組む。
- ・設備改善計画（中長期）を策定し、毎年見直ししながら、財務状況に沿って優先順位をつけ実行していく

[特記事項]

- ・なし

⑨法令等の遵守

・法令、専修学校設備基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

[課題]

- ・職員の世代交代の中で、法令等の改正に対応した学内規定の変更や届を的確に行う体制の継続。

[今後の改善方法]

- ・学校法人に関する法令や事務手続に関する理解を確実にするための研修を実施する。
- ・職場内の慣行や前例踏襲の意識を法令遵守の観点から再検討し、改善する。
- ・自己評価の実施に当たって職員研修を行い、より学校改善に資するものとする。

[特記事項]

- ・なし

⑩社会貢献・地域貢献

・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

[課題]

- ・社会貢献・地域貢献活動に積極的に参加している学生とそうでない学生の差がみられる。

[今後の改善方法]

- ・自治体や関係団体・企業等が開催する事業へのサポート要請には引き続き積極的に対応していく。
- ・本校での授業と地域貢献を関連付け、県内企業や学校等からの協力や支援の要請に積極的に対応する。

[特記事項]

- ・自治体や団体、企業が開催するDX関連のイベントのサポート等、学生ボランティアの参加を奨励している。